

事業実施主体等取組補床報告書(推進事業)

政策目的	政策目標	市町村名 (または地区名)	事業実施主体	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)				負担区分(円)				目標達成状況 B/A	事業主体等による 評価結果	都道府県による点 検評価結果(所見)
					成果目標(A)	事業内容(計画)	成果目標に対する 成果実績(B)	事業実績	その他参考となる事項 (対象作物・畜種名等を必要 に応じて記載)	事業費 (円)	交付金						
											交付金	都道府 県費	市町村 費	その他			
経 営 力 の 強 化	担い手への農地利用集積の促進	-	山形県	新技術活用優良農地利用高度化支援	集積対象者に対する農地利用集積率を事業実施前年度末と比較して1.0%増加	遊休農地解消対策会議の開催、モデル実証ほの設置、現地検討会・フォーラム等の開催、モデル事例のPR・情報収集活動、遊休農地解消対策のための指導機材整備	集積対象者に対する農地利用集積率を事業実施前年度末と比較して1.0%増加(平成18年度実績30%から31%に増加)	遊休農地解消対策会議の開催22回 モデル実証ほの設置17箇所 現地検討会・フォーラム等の開催20回 モデル事例のPR・情報収集活動23回 遊休農地解消対策指導機材の整備9件	平成18年度より継続 ・枝物花木の新規導入、 ・枝豆収穫作業の省力化、 ・山菜栽培の拡大、 ・簡易放牧の実施、 ・特産品目作付けによる地域振興、 ・切芝植栽によるカバープランツの定着	6,118,000	6,118,000				100.0%	県内各地域において、有望な品目のモデル実証と現地検討会の開催等により遊休農地の解消及び発生防止対策を進めた。 その結果、遊休農地の活用とモデル品目の導入、担い手による農地活用が図られた。	目標を達成し、優良農地の確保、担い手への集積に資することができた。
	新規就農者の育成・確保	-	山形県	若者・女性就農チャレンジ支援	新規就農者数152名	中長期営農計画の作成支援、濃密巡回指導、各種研修会の開催等	新規就農者163名	・中長期営農計画の作成支援(15人) ・濃密巡回指導(随時) ・各種研修会等の開催(9回)		4,000,000	4,000,000				107.2%	各農業技術普及課を中心とした各種取組みを推進した結果、目標を達成している。	新規就農者の育成について、目標を達成している。
		-	山形県	道府県農業大学校等再チャレンジ活用推進	新規就農者(引き続き高度な研修教育課程の受講者を含む)を15人育成	既存新規就農研修の導入に当たる研修教育課程の新設、就農ハンドブックの作成	新規就農者(引き続き高度な研修教育課程の受講者を含む)を28人育成	農業基礎トレーニング研修の実施(3回、38名) 就農ハンドブックの作成		1,861,000	1,861,000				186.7%	目標を達成し、新規就農者の増加につながった。	目標を達成し、新規就農者の増加につながった。
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,979,000	11,979,000				-	-	